

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年6月28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471502686		
法人名	株式会社 リブネット		
事業所名	グループホーム かざぐるま		
所在地	福山市御幸町上岩成609-1 (電話) 084-961-1200		
自己評価作成日	平成24年5月29日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成24年6月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>入居者さん主体の生活に力を入れています。スタッフのお手伝いではなく、入居者さんの生活の流れにスタッフが合わせ、家事すべてにおいては一連の流れを大切に、さりげない介護を目指しています。又外出や入居者さんのしたい事を実行することにも力を入れています。1年に1冊どういう取り組みをしてきたかの反省などを書いた冊子を作成し、入居者さんご家族への1年間の取り組みの周知と共にスタッフ自身の振り返りにも生かしています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>職員は入居者主体の生活の援助者との思いから、入居者が主体的に行動できるように環境を整え、見守り、支援に努めている。そのことは入居者間でも相乗効果を生み、一人ひとりが出来る事や笑顔も増え、お互い協力のもと主体的な生活ができてきている。また一人ひとりの意向や要望の把握に努め、柔軟に対応されている。入居時には、家族の援助計画も作成しており、本人本位のサービスの向上に繋げている。以前は地域性もあり、地域との交流が難しい面もあったが、事業所の努力により、運営推進会議に地域住民の出席も多く、また地域行事への入居者の参加も多数あり、地域交流が活発に行われている。入居者のユニット間の交流も同好会活動を通じて行われている。管理者、職員、入居者、家族が共に向上心を持って取り組んでいる状況が察せられる事業所である。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	家庭的な雰囲気の中で、仲間と一緒に思いやりとやさしさで笑顔を大切にしたい、安らげる生活を目指すという理念に基づいて、笑顔で生活できるように取り組んでいる。	毎年ユニットごとに前年度の振り返りと反省を行い、全員で話し合っ、理念をふまえた目標を作り、日々のケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近所のスーパー（ハローズ等）へ、毎日食材を買いに行っている。理美容院も利用している。	近隣の店舗の利用や、地域の祭りへの参加、また地域住民と一緒に交通パトロールを行うなどの地域活動には、入居者と共に参加している。今後は地域の老人会やボランティア団体との交流も検討されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	近隣の店（ガソリンスタンド・美容院）に、入居者さんが制作したカレンダーを持っていき、飾ってもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に一度開催している。	地域包括支援センター職員、地域民生委員、近隣のグループホーム代表が参加して、2ヶ月ごと開催している。テーマに合わせて、消防署職員、市職員、家族、協力医療機関なども多数参加され、事業報告や情報交換を行い、地域情報や意見をサービス向上へ活かしていくよう、取り組んでいる。	運営推進会議の報告は、ユニットごとで異なり統一されていない。全職員が情報の共有を図り、意識統一できる取り組みを期待します。また、参加されない家族に対しても情報提供し、今後の運営につなげていくことが望まれます。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃の不明な点などは市担当者へ相談し連携を取っている。	市担当者とは、事業所の実情報告や相談、また運営推進会議への出席などで連携を深め、協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日常のケアの中で、リーダーを中心にミーティング、勉強会、研修等の中で周知し、拘束をしないケアに徹している。</p>	<p>身体拘束をしないケアの実践については、勉強会や研修で理解を深めている。また介護関係のブログの閲覧での情報提供により、情報の共有を図っている。夜間のみ玄関の施錠を含め、身体拘束をしないケアに努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>日常のケアの中でリーダーを中心にミーティング、勉強会、研修等の中で周知し、虐待に対する意識を高め、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>管理者が学んでおり、必要な方には利用してもらっている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>本人の希望、家族の希望を事業所で出来る事出来ない事を契約時に限らず必要な時に家族、本人と事業所が確認し合い納得した上で利用してもらっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年2回家族会を開催している。その中で家族へのアンケートを実践したり、話し合いの場を設けている。面会時はスタッフから声を掛けたり、サービス担当者会議など少しでも多くの家族の要望を知れるようにしている。</p>	<p>家族会や毎月の利用料の支払い時など、訪問時には必ず家族と話し合うようにしている。また訪問の少ない家族へは、こちらから訪ねて行くようにしている。入居時に家族の援助計画を作成し、サービスの向上に繋げている。年2回、家族へアンケートを実施し、自由に意見や要望を表せる機会を設けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月2回のリーダー会議、各ユニットミーティング、毎朝のミーティングの中で意見や提案等話合う場を作っている。	各種会議には予めレジメを配布して、考えてもらい、話し易い雰囲気の中、全職員に発言の機会を設け、職員全員が自由に意見や提案ができるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格取得や実績が給与に反映されるような仕組みになっている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行っている。法人内の勉強会を開催し勉強する機会を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者の祭りやコンサートに参加するなど交流している。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の事前訪問などで、現場スタッフも安心して要望が言えるような関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>要望に沿ったサービスを提供できるように家族の思い、心配ごとなどを話してもらえるような関係作りをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、家族の要望と事業所で出来る事出来ない事をすり合わせ、要望に応えられない場合には要望に沿えるようなサービスを紹介している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者さん主体の生活を実践していく為にスタッフは入居者さんの要望を叶える為に存在していることを意識し、入居者さんと暮らしを共にする関係作りをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所がすべてしてしまうのではなく、家族が参加できる時には参加してもらい本人と家族の関係を最優先にし家族では補いきれない部分を事業所がサポートするように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>自宅や地域の祭りや花見などの地域行事に参加したり、帰宅したい時には帰宅出来るようにし家族の都合がつけば外泊できるようにしている。又、事業所に家族が宿泊されたり、電話などを使い関係が途切れないように支援している。</p>	<p>自宅近くの馴染みの美容院を利用したり、家族の協力で毎月教会へ出かけ、牧師さんもお会いに来られるなど、交流を続けている。階下のデイサービス参加者の訪問など、馴染みの関係が途切れないよう支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う方同士で好きにしてもらっている。単独で行動が多い方には不満が出ない程度に他の方と交流できるようにスタッフが仲立ちしたりし、入居者同士楽しみながら生活できるようにユニットに関係なく交流できるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	長期入院の為退去した方へ入居者さんと一緒にお見舞いに行ったり、亡くなられた方への葬儀に参列している。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの要望を把握しどうしたら実現できるかをいつも考え実行している。	職員は、日頃から入居者に関わる時間を大切にし、入居者に寄り添う中から、話を聞いたり、状況から察することにより、意向の把握に努めている。困難な場合は提案したり、絵や写真などで捉えしてもらうなど、聞き方を工夫している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常での本人との会話、面接時の家族との会話やサービス担当者会議で情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ライフチャート、申し送り等で全スタッフが情報を共有できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ミーティング時に全員で行うカンファレンス以外にも申し送りノートを使用したり、少しの時間を利用し個々のスタッフの間でも意見交換等を少しでも多くの情報を反映できるように取り組んでいる。</p>	<p>半年ごとに、原則、家族も参加し、担当者会議を開いている。また医師の意見も聞くなど多くの情報から、本人の現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ライフチャートを利用しこまめな記録と勤務交代時の申し送り等で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度、本人、家族、事業所で話し合い、可能な限り実現できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の祭りや催し物等の行事へ参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>何かあればいつでも相談受診できる体制になっている。事業所の協力病院以外にも本人、家族が希望するかかりつけ医を利用してもらっている。</p>	<p>協力医療機関とは、24時間医療連携が図られている。また2週間に1度は訪問診療も行われている。専門医等本人や家族が希望するかかりつけ医の受診は、家族対応をお願いしているが、職員の同行もあり、受診情報の共有も図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力病院の看護師にいつでも相談出来る体制が整っており、気になる事、些細な事でも相談に乗ってもらっている。又、週に一度、看護師の健康チェックを受け、健康状態の維持に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院との連携を密にし少しでも早期に退院出来るようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族、医師、事業所で話をする機会を作り、事業所でできる事と本人、家族の要望をすり合わせながら最期まで生活できるように援助している。	協力医療機関と連携を図りながら、状況に応じて家族と繰り返し話し合いをしている。またユニット内でも、情報の共有を図り、事業所で行える最大限の支援に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを準備している。定期的にスタッフ全員救急救命講習を受けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の職員指導の元に避難訓練を定期的に行っている。災害時の地域との協力体制は築けていない。	年2回消防署のアドバイスを受けながら、入居者も一緒に全員参加で避難訓練を行っている。夜間を想定しての訓練は、マニュアルはあるが、実践訓練はできていない。	今後は、消防署の指導を得ながら、夜間を想定しての避難訓練を実施してもらいたい。



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	各ミーティング、社内研修などを利用し、入居者の尊厳を尊重するケアの重要性を話し合い、実行している。	入居者一人ひとりの人格を尊重したケアのあり方について、常に話し合い、日々の言葉かけについても確認しあっている。職員は、入居者の目線の高さに配慮して、ケアに取り組んでいる。また記名のある薬袋の処理についても、管理を徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で、入居者さんの要望を少しでも多く汲み取るように努め、本人が思いを言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフは、入居者さんの希望が分かったら即実行できるか考えるように、意識付けの元で支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者さんと相談して、その時に着る服を選ぶようにしている。理美容院に行きたい時に行けるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立を一緒に決めてから、食材の買い出しへ行っている。調理時には各入居者さんの出来ることを担当してもらい、入居者さん、スタッフが一緒にすることを大事にしている。	食べたい献立、食材の買い物、調理、配膳、片付けなど入居者が主体になって、でき得る事をお互いに助け合っている。職員は、やり易い環境を整え、見守り支援し、できあがったら同じテーブルで話しながら一緒に食事されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日の食事量、水分量は記録を見て全スタッフが把握できるようにしている。個々の状態に応じて食べれない時には食べれる物を少しずつ食べて頂くよう援助している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後に声掛けを行い介助が必要な方にはスタッフが誘導して行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し，一人一人に合わせた援助を心掛けている。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し，声掛けをしてトイレ誘導を行っている。入居者の状態により，夜間はオムツを使用し，安眠にも配慮している。リハビリパンツから，普通の布パンツに変えた事例もあり，排泄の自立にむけた支援に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の間隔を把握し個々の状態により医師の指導の元、下剤や浣腸の使用を行っている。予防としては水分摂取量に気をつけたり、腹部マッサージ等を取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者さんが入浴したい日に入浴してもらっている。又、極力好きな時間に入浴できるように援助しているが、対応の難しい時間帯もある。</p>	<p>入浴したい日の、入浴したい時間に入浴できるよう、一人ひとりの希望を大切にされた支援を行っている。二人介助の場合は昼間の時間帯になるが、一人でも入浴可能であれば、夜も8時ぐらまでは希望にそえるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	就寝時間、起床時間は特に決まりはなく、入居者さんのリズムで生活している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方箋説明書を各入居者さんのカルテに閉じて、いつでもスタッフが確認できるようにしている。往診、受診時に聞いた注意事項に関しては往診ノートに記入するようになっており、全スタッフが薬についての確認が出来る体制になっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人一人の好みに合わせ、買物、外出、映画、温泉等の趣味活動が出来るようにしている。又、好きな同好会に自主的に参加して頂いている。日常の家事など手伝ってもらった場合などには、スタッフが感謝の気持ちを伝え張り合いがもてるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人一人の希望、要望が分かたら即実行するようにスタッフに意識付けをしている。家族、スタッフとの外食、お墓参り等やりたいことを実現するように努めている。	雨の日も買い物に出かけたり、散歩など外出の希望や要望は、職員も共に楽しむ気持ちで積極的に支援している。最近では、ホテル見学に、夜も外出を楽しんでいる。釣り堀りや映画鑑賞、図書館など車イスの方も、共に出かけられるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	各個人での金銭管理はしておらず、各ユニットの事務所に金庫を設け管理しているが使いたい時にいつでも使えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	特に制限は授けていない。好きな時に好きなようにされている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花を飾ったり、季節ごとに壁面構成を取り替えながら季節感をあじわえるようにしている。	広くてゆったりしたリビングには、テーブルやソファが広々と配置されている。季節ごとの飾りつけは、入居者とともに行って、ゆったり過ごせる居心地の良い場所となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングの中の様々な場所に、テーブルやソファがあり、好きな時に好きな場所で過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具等を持ち込んでもらっている。家族の写真や自分で作った作品等を飾っている。	居室は整理整頓され、清掃による清潔感と温かさが感じられる。主体的にモップで拭かれる入居者もみえる。今までの生活習慣をできるだけ変えないように、仏壇や鏡台など置かれている。ベッドや畳敷きの寝床など、その人らしい居心地のよい居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各入居者さんの個室、お風呂、トイレ等分かりやすいようにしている。		

V アウトカム項目 かがやき			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

V アウトカム項目 こもれび			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない



V アウトカム項目 せせらぎ			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかざぐるま

作成日 平成 24年 8月 7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策において地域との協力体制が取れていない	災害対策における地域との協力体制	地域の行事（溝掃除）等にも参加する。防災訓練に地域の方にも参加していただき地域との協力体制をはかる。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。